

第23回

しっ くい こて え

全国漆喰鏝絵 コンクール作品展

伊豆の長八美術館 特別展

令和5年

10月7日(土)

11月19日(日)



第23回最優秀賞作品「陰と陽」野中 雅

開館時間

9:00~17:00

会場

伊豆の長八美術館
特別展示室

入場料

大人500円、中学生以下無料
☆常設・特別展共通

同時開催
佳作展

会場
民芸館2F

第23回全国漆喰鏝絵 コンクール作品展

漆喰鏝絵とは、日本古来の建築素材である漆喰を鏝でレリーフ状に盛り上げて描いたもので、その漆喰鏝絵を芸術の域にまで高めたのが、松崎出身で幕末から明治にかけ活躍し、左官の名工とうたわれた「伊豆の長八(入江長八)」です。

松崎町では、長八翁の偉業を讃えるとともに、漆喰鏝絵の魅力を全国に発信するため、2000年から「全国漆喰鏝絵コンクール」を開催しています。

今年の第23回全国漆喰鏝絵コンクールには、伝統的な題材から、新しい感覚でとらえた自由な発想の作品など、全国各地から多くの皆様にご応募いただき、その中から入賞作品15点を展示させていただきます。



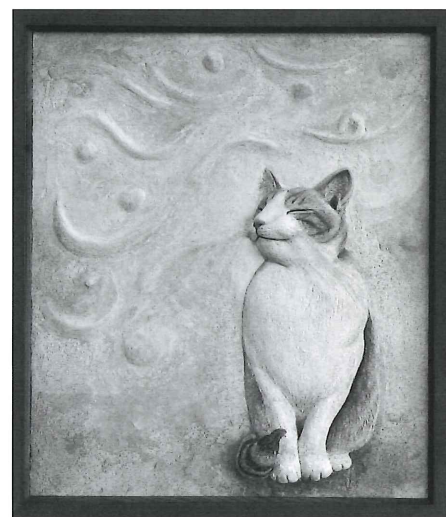
第23回 優秀賞作品
ナマコ壁とアサギマダラ
細田 栄作

漆喰鏝絵について

鏝絵とは、左官職人が鏝を使い、日本古来の建築素材である漆喰をレリーフ状に盛り上げたもので、漆喰細工ともよばれています。鏝絵は左官職人が施主に対する感謝の気持ちを表すために、仕事のお礼として家の戸袋や壁、土蔵の持ち送りやゑぶり等に絵柄を塗り出したものです。

その材料となる漆喰は消石灰に角又やすさを練り合わせたもので、この漆喰を鏝で巧みに描き、その上に絵具で彩色したものを「漆喰鏝絵」と呼び、新たな芸術分野として完成させたのが、松崎出身で幕末から明治にかけ活躍し左官の名工とうたわれた入江長八です。

長八の考案した「漆喰鏝絵」は、左官本来の建築装飾から額縁、塑像、掛け軸にまで及び、その技は全国へ広まり今もなお建築装飾としてその姿をとどめています。



第23回 優秀賞作品
春のにおいがするよ
宮田 尚子

交通のご案内

◆電車

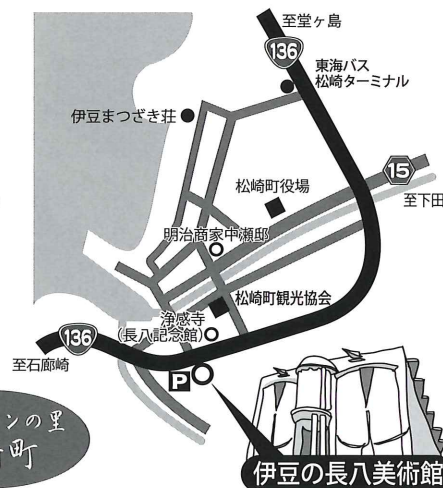
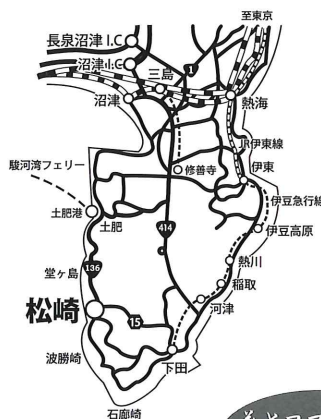
東京	新幹線 50分	熱海	伊豆急 1時間20分	蓮台寺	バス 40分	松崎
東京	直通電車 2時間45分			下田	バス 50分	松崎
東京	直通電車 2時間10分			修善寺	バス 1時間45分	松崎
東京	新幹線 1時間			三島	バス 2時間30分	松崎

◆船

清水港	駿河湾フェリー 70分	土肥港	バス 40分	松崎
-----	----------------	-----	-----------	----

◆車で

東名沼津IC、新東名長泉沼津ICより伊豆縦貫自動車道路經由国道136号→松崎77km(下田より27km)



伊豆の長八美術館

〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎 23

TEL.0558-42-2540 FAX.0558-42-2573

主催: 松崎町・(一財) 松崎町振興公社

後援: (一社) 日本左官業組合連合会